

令和5年度藤井寺市地域部活動あり方検討委員会 会議録

会議の名称	令和5年度 第6回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会
開催日時	令和6年3月15日(金) 午後5時30分から午後6時30分まで
開催場所	藤井寺市役所 3階 305会議室
出席者	<p>委員： 藤井寺市スポーツ推進委員：山根 義文 藤井寺市体育協会加盟員：瀧ヶ平 明弘 保護者代表：堂脇 友美 藤井寺市校長会：北村 敦士 藤井寺市教頭会：黒田 伸隆 中学校教員代表：中村 和昭 市民生活部協働人権課：龍見 美行 教育部教育総務課：中村 真也 教育部学校教育課：岸 廣幸 教育部生涯学習課：木村 智紀 教育部スポーツ振興課：八木 淳一</p> <p style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</p> <p>事務局： 教育部長：大山 哲也、教育部教育監：寺田 剛、 学校教育課長代理：山川 直人</p>
欠席者	なし
会議の議題	地域移行に向けて
会議の成立	委員9名中、過半数(9名)の出席があり、藤井寺市地域部活動あり方検討委員会規則の規定により成立
傍聴者	0名
会議録の作成方法	要点記録
記録内容の確認方法	会議の議長の確認を得ている
公開・非公開の別	公開

○事務局

皆さん こんにちは。

只今より、令和5年度第5回藤井寺市地域部活動あり方検討委員会を開催いたします。

開会に先立ちまして、委員の皆様方には、次の点についてご了解いただきますようお願いいたします。

本委員会について、原則公開となっており、本日の傍聴者は01人です。

次に本日の内容につきましては、議事録を作成いたしますため、録音させていただきますので、ご了承願います。

最後に、本日の委員会の内容の中で個人のプライバシーに関する内容が含まれた場合は、守秘義務も含め、適切に対応していただきますようお願いいたします。

以上のことについて、委員の皆様方には、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

会に先立ちまして、前回の会議録についてです。資料1について、委員の皆さまにはすでに送付させていただき、ご意見いただいた点については一部修正しております。お示ししている内容で決定してよろしいでしょうか。

○委員

【異議なし】

○事務局

ありがとうございます。

議事録につきましては、本日提示した資料とともに後日ホームページにアップする予定となっておりますのでご了承ください。

それでは、これより、委員長と副委員長に司会進行していただきます。

委員長、副委員長よろしくお願いいたします。

○山根委員長

それでは、次第2「地域移行に向けて」です。

まずは「令和6年度の取組みについて」です。前回の会議にて、令和6年度の取組みについて提案いただくよう依頼しておりました。

事務局お願いいたします。

○事務局

資料2をご覧ください。令和6年度の取組み内容とスケジュールについて記載しております。

まずは令和6年度の取組みについてご説明いたします。

1点目は、第三中学校のバドミントン部について、顧問の代わりに指導を担っていただく外部指導者を配置します。このことにより、教員の負担軽減につながるものと考えます。配置については第三中学校とはすでに協議済みであり、現在指導を行う年間計画について、外部指導者と学校とともに協議をすすめているところです。なお、予定している外部指導者は、現在、第三中学校の指導に関わっていただいている方となっております。

ます。

2点目は、剣道部についてです。現在道明寺中学校と第三中学校で令和6年度から合同練習会を開始することで協議を進めております。両校が合同で取組みを行う中で、今後の地域移行についての課題等を整理し、検討をしていきたいと思っております。

3点目はアルティメットの教室の実施です。こちらについては、八木委員よりご説明いただきます。

○八木委員

前回ご報告させていただきました、アルティメット部設立に向けて、本課が令和6年度の事業内容として、素案ではございますが簡潔にまとめさせていただきましたものを、本日の資料として配付させていただいております。

この事業実施後、新規の地域部活動（いわゆる新設部）として令和7年度当初より設立できることを目標とはしておりますが、設立に至るまでの課題解決も必要となりますため、あくまでも構想段階としてご理解ください。

前回委員会での報告内容と一部重複いたしますが、現在スポーツ振興課では、フライングディスクを用いたスポーツ普及事業に力を入れております。

令和6年度の事業実施プランにつきましては、まずは、定期的且つ継続的な、「アルティメット教室」のようなものを実施しようと考えております。

参加の対象者といたしましては、新小学6年生を中心に考えています。

具体的な日程はこれから調整いたしますが、主に平日の学校授業終了後を考えており、活動場所といたしましては、青少年運動広場Bグラウンドや、スポーツセンターなどを予定しています。

この教室の実施と並行して、新規の地域部活動設立をめざし、細かな課題解決にも着手したいと考えています。

以上でございます。

○事務局

令和6年度の実施について3点報告させていただきましたが、その他、地域移行や拠点校を検討できる部活動を学校と検討してまいります。

また、その取組みについて、あり方検討委員会で報告し、今後の取組みを協議していきたいと考えております。

令和6年度の実施についての説明は以上です。

○山根委員長

令和6年度の実施について具体的な内容の説明がありました。

何か質問・ご意見等がありますか。

○北村副委員長

第三中学校のバドミントン部は外部指導が指導を行う時は顧問がつかなくてもいいのでしょうか。

○事務局

現在検討している活用方法では、顧問がいない状態での指導はできませんが、今後検討してまいります。

○山根委員長

剣道部のことについて詳しく教えてください。

○北村副委員長

来週に今後の予定を含めて道明寺中学校と第三中学校、事務局で打ち合わせ予定です。合同練習からのスタートですが、活動場所を市の心技館などに移すことや将来的に教員以外の指導者による地域移行化等も検討できたらと考えています。

○山根委員長

アルティメットの指導者についてはどう考えてますか。

○八木委員

まずは本課職員で平日指導を行う予定です。地域部活動へ本格的に取り組むには、本課職員以外の指導者も探していく必要があると考えます。

○木村委員

開催回数や実施規模等についてはどうですか。

○八木委員

開催回数についてはまだ決まっておきませんので、今後早急に計画いたします。開催規模については、ドリームプレゼンター事業では100名近くの児童を3人の指導者で対応しておりますので、その程度の規模であれば対応可能だと考えます。今後実施していく中で技術の差が出てくると、クラスを複数に分けるなどの対応が必要になる可能性もあり、指導者の確保が課題です。

○木村委員

周知の際に、地域部活動化することを検討している旨などを記載する方が、保護者にとってもいいと思うがいかがでしょうか。

○堂脇委員

まずはやってみようという募集の方が、子どもたちは入りやすいのではないのでしょうか。地域部活動化となると少しハードルが高くなってしまいかもかもしれません。

○龍見委員

新設を検討するアルティメットは、学校の顧問が見るものではないと思うが、部活動をまとめる代表はどうするのでしょうか。

○八木委員

人材確保も課題です。教員が興味をもって参加していただくとありがたいなと思います。

○山根委員長

私もドリームプレゼンター事業で指導者としてサポートしていますが、子どもたちは喜んでおり、続けて競技したいという声もよく聞きました。5年生でドリームプレゼンターで体験し、6年生には教室で活動することにより、中1で部活動という流れは非常に良いと感じます。スポーツ推進委員として、地域移行は避けて通れないと感じており、どう関わっていけるかを今後も委員会等で発信していきたいです。

○黒田委員

アルティメットの取組みは良い意味で想像がふくらみます。日本一をめざそうとか、優勝しようというような仕掛けをすれば、どんどん盛り上がっていくと思います。

○中村和委員

私もこの流れがいいと感じます。また、保護者が来た時などにPRできるのではないのでしょうか。参観日などチラシを配布し、その直後に体験会実施などあれば参加が増えるのではないのでしょうか。

○山根委員長

他はありませんか。

では、続いて「令和6年度のスケジュールについて」、事務局お願いいたします。

○事務局

引き続き資料2をご覧ください。

令和6年度のスケジュール案についてお示ししております。

次年度も開催いたします本委員会において、さきほどご説明した取組み状況等について共有を行い、協議を重ね、8月までには令和7年度の具体的な取組みについての案を作成したいと考えております。理由としては、8月や9月には令和7年度の予算を要求していくにあたっての資料を作成する必要があるからです。その後も令和7年度に取組みについて、協議を重ねていく予定です。

説明は以上です。

○山根委員長

ただいまの報告について、ご質問やご意見はございますか。

○木村委員

令和7年度以降を検討する時期を考えると、アルティメットについては1学期中には何回か実施する必要があるのではないのでしょうか。

○八木委員

私も時間がありそうでないと感じています。広報に掲載するなら早急に動いていく必要があります、まずは課内職員で共有し、検討してまいります。

○山根委員長

周知の方法はどうでしょうか。

○八木委員

広報やHPという方法もありますが、児童へ配付しているタブレットを活用してダイレクトに子どもや保護者に周知していくと効果的であると考えております。

○黒田委員

4月下旬に部活動紹介があるので、そこで周知するのもいいのでは。

○八木委員

令和7年度に地域部活動化できていれば、検討してまいります。

○北村副委員長

道明寺中学校では、教員数の減少や働き方改革として、次年度以降部活動の数を減らしていくことも検討しています。例えば水泳部は南河内地区で羽曳野市の誉田中学校と道明寺中学校しかなく、中体連関係の事務が大変負担になっており、今後のあり方について検討していく必要があります。また、地域の方から、中学生にダンスを教えたいという声を聞きました。様々な情報を集め、相談しながらやっていきたいです。

○岸委員

水泳部やダンス部についてご意見がありましたが、令和6年度の取組みとしては、先ほど説明のあった3点を中心にすすめていくということではないのでしょうか。

○事務局

スケジュール案にあるとおり、残り5か月程度で令和7年度の方向性を出すことを考慮すれば、まずはご説明した3点を中心に進めてまいりたいと思います。令和8年度以降のことも視野に他の部活動についても情報共有等について行ってまいります。

○北村副委員長

バドミントン部のように、外部指導者の配置について、他の部活動にも広げていいのでしょうか。

○事務局

学校でニーズのある種目に部活動指導員を配置していくことは、今後の地域移行していくステップになると考えています。ただし、予算の関係もありますので、事前に事務局へご相談ください。

○山根委員長

他はありませんか。

この委員会で、できるところから取り組むという意見がよくありました。もちろん学校や保護者、子どもたちへの理解を得ながら進めていく必要はありますが、この委員会で協議しながら、令和6年度も引き続き地域移行に向けて前向きに進めていきたいです。

続きまして、次第の3「事務連絡」についてです。

事務局お願いします。

○事務局

本日はお忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

今年度の開催は本日で終了となります。

次年度については、規則にあるように委員のみなさま方は1年間の任期となっており、令和6年7月末までとなっておりますので、次回のお出席についてもよろしくお願いいたします。

それでは次回の日程調整をさせていただきます。

5/24(金)午後5:30でどうでしょうか？

○委員

【異議なし】

○事務局

それでは、5/24(金)午後5:30で開催いたします。

開催場所が決まりましたら正式なご案内を送付させていただきます。

○山根委員長

これで、本日の案件はすべて終了いたしました。これを持ちまして「令和5年度 第6回 藤井寺市地域部活動あり方検討委員会」を閉会といたします。

ありがとうございました。